



# 現代版イーハトーブ (理想の地)の守り方

新作講談「グスコブドリの伝記」× アフタートーク  
原作：宮沢賢治

2024年10月19日 (土)

14:00~15:30 (開場 13:30)

本郷キャンパス 工学部2号館212号講義室 **入場無料**

公式イベントページ  
事前申込みこちらから



神田 伊織 講談師

佐藤 健二 東京大学執行役・副学長

宮沢 佳恵 東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授

山野 泰子 東京大学未来ビジョン研究センター 講師 (司会進行)

# 現代版イーハトーブ(理想の地)の守り方 新作講談「グスコーブドリの伝記」× アフタートーク

原作：宮沢賢治

「先生、気層のなかに炭酸ガスがふえて来れば暖くなるのですか」  
「それはなるだろう。地球ができてからいままでの気温は、  
たいいてい空気中の炭酸ガスの量できまっていたと言われるくらいだからね」

「イーハトーブ」の地を守るため、冷害や火山噴火などの自然災害に立ち向かうグスコーブドリの一生涯を描いた、宮沢賢治の名作『グスコーブドリの伝記』を、本学卒業生である講談師・神田伊織さんが迫力ある語りで蘇らせます。アフタートークでは、雲を作って雨や肥料を降らせたり、噴火の温室効果ガスで冷害を克服したりというアイデアを物語りに取り入れた賢治の構想力と、自己犠牲の主題、環境問題への考究について、本学教員とともに探ります。

【日時】2024年10月19日(土)14:00～15:30(開場13:30)

【場所】本郷キャンパス 工学部2号館212号講義室 **入場無料**

## 【プログラム】

- 13:30 開場
- 14:00～14:40 講談
- 14:40～14:50 休憩
- 14:50～15:30 アフタートーク

## 【登壇者】



### 神田 伊織

東京大学文学部仏文科卒、同大学院人文社会系研究科修士課程修了。在学中に国語専門塾を起業し、卒業後は在野の教育者として活動していたが、縁あって講談界に飛び込む。2016年5月神田香織に入門。同年8月講談協会の前座となる。2022年9月、二ツ目に昇進。東京都へブレンダーとして都内各地で辻講釈も行なっている。



### 佐藤 健二

東京大学執行役・副学長、未来ビジョン研究センター特任教授。人文社会系研究科長を経て、2019年から現職。学生時代に見田宗介に比較社会学を学び、柳田国男の仕事を読みなおすなかで、独自の歴史社会学を開拓してきた。著書に『社会調査史のリテラシー』『ケータイ化する日本語』『柳田国男の歴史社会学』『浅草公園凌雲閣十二階』『真木悠介の誕生』など、また最近の仕事として柳田国男著『明治大正史世相編』の校注がある。



### 宮沢 佳恵

子供のころから虫や山や海が大好きで、その興味のまま大学で生物学を専攻。その後、旅する中で自然生態系と調和した農業の面白さに目覚める。農学博士を取得後、農研機構で環境保全型農業の技術開発の研究を行っていたが、震災が人生の転機となり期せずして大学に移る。現在は、農業活動がその土地の生態系のポテンシャルを引き出し、より豊かにするための研究を展開中。



### 山野 泰子

東京大学教養学部生命・認知科学科卒業、同大学院総合文化研究科広域科学専攻修了。同大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻より博士号(工学)を取得。2019年より東京大学未来ビジョン研究センター助教、2023年より同講師(現職)。人工知能学会学会誌編集委員。ネットワーク生態学研究会幹事。専門は複雑ネットワーク科学。趣味は植物観察。